

2023年6月10日—令和5年度第二回グアム日本人学校定例理事会議事録

時間： 午後2時～午後4時30分

場所： 日本人学校会議室

出席者： 権田、時任、伊藤、井上、井手、小形、木村、許、小松、
渡辺（た）
（オンライン参加） 今津、武石、二宮、プール、渡辺（奈々）

欠席者： スミス、
プルモネス

議長： 時任

記録： 渡辺（た）

議題：

1. 各部報告：書面にて。質問事項は以下。

1) 全日

- ① 体育大会の予定、英検他、検定試験の実施について質問があった。全日校長より回答、「体育大会は当初6月11日を予定していたが、6月25日に延期した。しかし、休校が続いたため、さらに延期せざるえない。現時点では9月6日の開催を検討している。英検については6月4日に実施済、また、日本語検定については本日6月10日に実施している」。
- ② 体験入学の実施状況について質問があった。全日校長より「一時期12名の参加も予定されたが、台風などもあり、最終的に10名が参加している」旨、回答があった。

2) 補習校

- ① 報告書6月のスケジュール、夏休み、2学期のスケジュールの台風の影響による変更について、報告書との相違もあり、質問があった。補習校校長より「英検、日本語検定については全日校長より報告があったとおり。漢字検定は予定通り6月18日に実施予定。2学期については台風による休校期間（土曜日の国語は2週、平日授業は3週→学校としては3週休校と認識）の授業を取り戻すため、終業式を1週間延ばすこととする」旨、報告があった。
- ② 報告資料の生徒数の表について、わかりにくいとの指摘があった。補習校校長より次回以降、修正する旨、説明があった。
- ③ 日本語教室、書道、JLPT教室の現状、立て直し方策、見直しについて質問があった。補習校校長より「まだ着任して間もないため、今後検討する」旨、回答があった。

3) 幼稚部

- ① 日本人会ホームページ、インスタ、フェイスブックを通じた入園者状況について質問があった。幼稚部園長代理より（別途チャットで）「4月以降、新たな入園者はいない。今後行事の様子を宣伝し、入園者増につなげていきたい。また1件、入園希望の問い合わせを受けている」との回答があった。
- ② 幼稚部教員募集の成果について質問があった。「現在のところ問い合わせがない。今後の方策について別途相談させてほしい」旨、回答があった。

4) 事務局

- ① 4、5、6月の収支、大きな支出、年間見通しの差異について質問があった。事務局を担当する理事より「経理データを精査しているが、本日時点では報告できる段階にない。早急に理事会に報告できるようにする」旨回答があった。
- ② 小松事務長の6月25日での退職に伴い、時任理事、渡辺理事が事務局の仕事をサポートする旨報告があった。

5) 全日PTA

白いコンテナの入れ替えについて6月13日火曜日に設置を予定しているため、それまでに中身の搬出の依頼が学校側にされ、井出校長他が対応することが確認された。

2. 討議事項

1) 日本人会教育副部長退任報告と、伊藤理事を有識者として任命することについて

- ① 伊藤理事が日本人会教育副部長（（兼）学校理事会 Secretary）を退任されることが報告された。
- ② 伊藤理事は日本人会教育副部長の立場で学校理事に就任していたが、引き続き、有識者として投票権のある学校理事にとどまることについて提案があった。
- ③ 理事より Bylaws（学校付属定款）上、問題ないことが説明され伊藤理事が引き続き、有識者枠（副理事長に任命権あり）にて学校理事を担うことが承認された。
- ④ また Bylaws（学校付属定款）上、日本人会教育副部長が担うべき Secretary が空席となるため、承認のうえ、渡辺理事が新たに Secretary に任命された。

2) 台風関連

- ① 時任理事より台風による学校の被害状況およびリカバリー状況が報告された。
 - 大きな被害は倒木等によるフェンス4か所のねじ曲がり等。3か所については日本人学校の自前のフェンスであり既に修理済。1か所（学校のラデラ寄りの隣家との境）は隣の施設のものと思われ、今後協議が必要。
 - 剥がれた天井3箇所については天井材の復旧およびペンキ塗装により補修可能で着手済み。
 - 玄関の雨除けは業者の見積もり待ち。
 - プリクラスの屋根の防水シートがはがれている件については、直近で施工した企業（ニチロン）に問い合わせる予定。
 - 浸水したと思われる体育館の床については、現状大きな損傷が見られないため、しばらく様子を見ることに。
 - 小学1年、2年、3年のクラスの床のタイルが剥がれた件について、再度状態を確認することに。
 - 今までに支払った台風被害修繕経費は、労務費として2, 200ドル、材料費145ドル、ペンキ代150ドル、合計2, 495ドル。経費についてFEMAに申請できないか確認したが、FEMAは企業、団体は対象外。
 - 倒れた木の集積所への運搬についてHEXEL Works社が無償で行っていただいたことが報告された。
- ② 理事会で立ち上げた寄付サイトに関して約1, 500ドルの寄付を頂戴している旨、経過報告がされた。またPHR社より1, 500ドル、佐藤PHR社長より個人で500ドルの寄付をいただいたことが報告された。
- ③ 被災された教員のホテル代について報告があり、経費支出について承認がされた。本件について該当職員がFEMAを申請し援助金がおりた場合、学校へ返金してもらう事とする。
- ④ 補習校について2学期を1週間延長しても2週間、当初の授業時間を確保できないため学費を返金する旨、報告があった。返金方法（返金するか、今後の授業料に補填するか）、時期については8月1日発送の授業料インボイスで調整する事とする。
- ⑤ 6月12日（月）～6月14日（水）の三日間、放課後に学校会議室において理事による教職員向けFEMA申請サポートを行う事が報告された。

3) パブリックヘルスアップデート報告

理事よりパブリックヘルス対応に関する進捗が報告された。6月8日時点で指摘項目数全19項目のうち、7項目が対応完了、4項目が対応中、8項目が未対応。未対応の項目の減点数の試算結果は33.2点であり、現時点での評価は、D（3月検査時減点60点）からCと一段あがる見込みであることが報告された。また対応期限が2024年6月11日であることが再度確認された。

4) 保健室アップデート報告

現状、会議室横に全日のベッド、補習校職員室入口横に補習校のベッドがおかれているが、保健室の設置が重要であり、現状、現補習校職員室の一部に保健室を作り、補習校の職員室を全日・事務員の職員室内に移動することで、全日と補習校教諭の交流も図れるという一石二鳥のアイデアがある。実現方法について協議を行ったが、運用上の課題が複数指摘されている。今後レイアウトを実際に作成し、必要な机などの設置が可能か検証することが報告された。また7月に日本で開催される在外教育施設事務長会議において他の学校の事例をヒアリングすることが提案された。

5) アクションアイテムの管理

毎月複数にわたり確認されるアクションアイテムの実施管理に関して、理事より、タスク管理オンラインソフト「Asana」を利用する旨報告があった。まずは一部の理事で試行運用し、他の理事に展開することとなった。Asanaの特徴は利用者15名まで無料であること、複数のタスクが一元管理できること、オンラインツールのため、リモートアクセスできること、などが紹介された。

6) 現行賃金テーブルの現状と課題について

現在の賃金テーブルについて複数の課題・問題点があることが、理事より報告があった。

- 時給ベースの教職員に関しては、現在のグアムの最低賃金9.25ドルを下回るテーブルはないが、オバマ時代に設定されたグアムでのExempt社員の最低月給水準、週455ドル（ $\$455/\text{週} \times 5.2\text{週} \div 12\text{か月} =$ ）月給 $\$1,971.67$ を下回る基準が設定されており、この部分はコンプライアンス違反である。ただし実際にその給与テーブル上の対象になる教職員は現状はいない。
- 「手当」という概念が米国の賃金制度にそぐわない。
- 時給制と月給制の考え方が混在しており、基準表でも月給なのに、時給換算額も記載されており、わかりにくい。
- 今後検討を重ね、法的にも実態的にも当校に合う賃金テーブルに改定していくことを確認した。

7) 人事部門の現状と課題、人事部門構築のプランについて

伊藤理事より学校の人事課題について報告があった。今後、伊藤理事には学校の人事関連の制度整備、運用に関して注力いただくことが報告された。

3. その他報告・共有事項

1) 全日英語教員の退職について

全日校長より、7月14日をもって英語教員1名が退職する旨、報告があった。また理事より、すでに退職者補充のためのアクションが取られていることが共有された。他の理事より、先月発言があったように「パートタイムの教員を採用しやすくするため、2学期から英語授業の時間帯の見直し（午前中に集約する）してほしい」旨、提言があった。担当理事と井出校長により、2学期以降の授業時間帯を検討するとの確認があった

(了)